

門真市立市民公益活動支援センター

指定管理者の候補者の選定について

(1) 選定結果

- ① 指定管理者に管理を行わせようとする公の施設の名称
門真市立市民公益活動支援センター
- ② 指定管理者の候補者に選定する団体
特定非営利活動法人 あいまち門真ステーション
- ③ 指定する期間
平成25年4月1日から平成28年3月31日までの3年間

(2) 募集状況

募集要項配布期間	平成24年7月17日（火）～8月13日（月）	
現地説明会日程及び参加団体数	平成24年8月28日（火）	1団体
申請受付期間及び申請団体数	平成24年9月10日（月）～9月21日（金）	1団体
	申請団体名 特定非営利活動法人 あいまち門真ステーション	

(3) 選定委員会

① 選定委員会委員構成

委員区分	職名	氏名
委員長	NPO政策研究所理事・主席研究員	荒川 俊雄
副委員長	龍谷大学政策学部准教授	深尾 昌峰
委員	大阪府ボランティア協会主幹	影浦 弘司
委員	門真市総合政策部次長	大矢 宏幸
委員	門真市市民部長	市原 昌亮

② 選定委員会開催日と主な内容

開催日 平成24年 9月28日（金）

主な内容 正副委員長の互選、選定の進め方、書類審査、
プレゼンテーション及び質疑応答、
総合審査及び指定管理者候補者の選定

(4) 選定基準

	選定基準	評価項目	配点
1	住民の平等な利用が確保されるものとなっているか	施設管理運営方針は適切か	5点
		平等な利用を図るための具体的な手法及び期待される内容は適切か	
2	当該公の施設の効用を最大限に発揮させるものであるか	設置目的達成のための具体的な手法及び期待される内容は適切か	20点
		施設の維持管理の内容、適格性及び実現の可能性はあるか	
		危機管理体制、事故又は災害に対する予防策及び対応策はとれているか	
3	管理に係る経費の削減が図られるものであるか	施設の管理運営にかかる経費の内容は適切か	15点
		経費削減に対する具体策はあるか	
4	管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有しているか	安定的な運営が可能となる人員配置体制は適切か	15点
		職員の労働条件は適切か	
		職員の指導・育成・研修体制は適切か	
		類似施設の管理運営に関する実績は評価できるか	
5	その他管理に際して必要と認める基準を満たすものであるか	高齢者、障がい者等の雇用及び就業の方針は適切か	5点
		環境問題への取り組みは十分か	
		個人情報の保護及び情報公開を適切に対応できる体制か	

6	情報の収集・提供に関する事項	ホームページの活用は図れているか	20点
		ペーパーを媒体としたPR策は図れているか	
7	協働促進につながる人材育成	人材育成のための講座や研修の内容は適切か	20点
		市民公益活動団体が力をつけ、さらに活発化できるような人材育成事業ができるか	
8	利用者の相談・助言に関する事項	NPO法人やボランティア団体に対する専門的な相談・助言の体制ができているか	20点
		NPO法人立ち上げのための相談・助言の体制ができているか	
		個人の市民公益活動に対する相談・助言の体制ができているか	
9	関係機関との連携・交流の促進計画	さまざまな組織間の交流促進への具体的取り組み策はあるか	20点
		関係機関、市民公益活動団体等との連携は図れているか	
10	協働コーディネート機能（中間支援組織）について	市と市民公益活動団体の橋渡しの役割を図れているか	10点
		公民協働の促進を図れているか	
合 計			150点

(5) 審査結果

申請団体から提出された事業計画書や提案書等を選定基準に基づき書類審査、プレゼンテーション及び質疑応答を実施し、5人の委員評価点の合計が、750点満点中、その6割である450点を合格ラインとした。

審査の結果、申請団体は491点を獲得したことにより指定管理者の候補者とした。

(6) 選定委員会から指定管理者の候補者に対する附帯意見

指定管理者は、中間支援組織業務を担うにあたって、近隣の同様な中間支援組織とネットワークや情報交換を行ってほしい。他の地域が行っている事業やノウハウについて、情報収集する機会を持ち、より良い形で中間支援業務を展開していただきたい。

(7) 指定管理料の額

年 度	指 定 管 理 料
平成 2 5 年 度	1 5 , 3 6 0 千円
平成 2 6 年 度	1 5 , 2 4 4 千円
平成 2 7 年 度	1 5 , 3 5 9 千円
合 計	4 5 , 9 6 3 千円